

【OCG 最先端の大水深港湾技術でハノイ国立大と共同セミナー】

## 最先端の大水深港湾技術で ハノイ国立大と共同セミナー



OCG

オリエンタルコンサルタンツグローバル（OCG）は、ベトナムのハノイ国立土木  
大学と共同で「最先端の港湾建設技術」イ  
ンドネシア国パティンバン港建設プロジェ

クトに採用された日本の大水深港湾建設に  
関する最先端技術」と題する国際セミナー  
をハノイ市の同大学で開いた。写真。

同社が携わっているパティンバン港建設  
プロジェクトの沖合人工島建設工事での軟  
弱地盤対策を題材としたセミナーでは、総  
合開発事業部のレ・フオン・ドン港湾部次  
長が「大規模埋立事業におけるCDM/C  
PM工法の適用」、技師の水野竜太氏が  
「格点式ストラット工法を用いた軟弱地盤  
上の大水深バースの建設」と題してそれぞ  
れ講演し、工期短縮や環境配慮を実現した  
事例を紹介した。

同国の大水深港湾建設事業でも同様の対  
策が求められていることから、こうした日  
本の先端技術や事例の適用可能性を念頭  
に、同大学副学長のファム教授や国際協力  
部長のゲン博士をはじめ、同国の大学関  
係者、建設コンサルタント、建設会社など  
から参加した約50人の技術者と活発な意見  
交換が行われた。